

ポイント

「青森版インダストリー 4.0 により地方発 世界へ!」、IoT ソリューションでグロー バル展開を目指す

- 青森市の本社と中国深圳市の協力工場をリアルタイムで結ぶ「ロケーションフリーモデル」で効率化
- 「ナビチャリ」などの商品に活用された同社の技術は、IoT でさらなる地域イノベーションへ
- 地域の IoT 分野のリーダーとして政策形成や雇用創出に貢献、青森県初の東証マザーズ上場を目指す

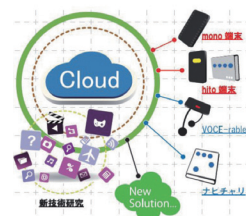
企業基本情報

所在地	青森県青森市古川3丁目22-3 古川ビル3F
電話/FAX	017-757-8033/017-757-8044
URL	http://www.forte-inc.jp/
代表者	代表取締役 葛西 純
設立	2005年
資本金	4,100万円
従業員数	14人



会社概要

同社は、青森市に本社を置く地域発 IoT 分野の企業。位置センサー、移動型通信端末及び骨伝導スピーカー等を利用して「ナビチャリ」や「VOCE-rable」のユニークな商品を市場化している。これらの技術は IoT と結びついて応用分野が拡大している。海外に協力工場を保有するロケーションフリーで製造の効率化を実現、国際標準の認証体制を構築して意欲的に海外市場への進出を目指す。青森県初の東証マザーズ上場の準備中である。



ソリューションイメージ

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

青森市と中国深圳市を結ぶ「ロケーションフリーモデル」の実践

同社は、青森市の本社に商品企画、研究開発の機能を置き、3D プリンター等を導入して試作と評価を実施、中国深圳市の協力工場で生産を行っている。本社と協力工場はインターネットで結ばれ、リアルタイムで情報を共有できる「ロケーションフリーモデル」を実践している。海外で生産された製品は、本社において国内規準に準拠した検査体制を整備、地域の雇用や人材育成を維持しながら、商品の信頼性の確保につながっている。



多言語対応音声ガイド・ナビ端末「ナビチャリ」サービス

同社の保有技術と IoT が生み出す地域イノベーション

同社のセンサー、通信端末及びコミュニケーションの技術は、電動アシスト自転車に搭載することで移動型媒体の機能を持ち、骨伝導スピーカーというインターフェースの導入により音声ガイド機能が付与、さらには双方向通話システムへ発展する。これらの商品は、同社独自のもので国内に類似の商品はなく、国際的にも評価が高い。IoT の普及により、健康福祉、製造技術、交通システム等、多様な市場に応用可能な革新的技術である。



上から順に、GPS を活用した多言語音声ガイドナビ端末、hito 端末、mono 端末

地域に根差した経営で雇用創出、青森県初の東証マザーズ上場が目標

代表は、2011年に有限会社 forte の取締役社長に就任。以来、地域における IoT 分野のリーダーとして、総務省、青森県及び青森市等の委嘱を受けて、地域における当該分野の政策形成に重要な役割を果たしている。また、弘前大学の非常勤講師として教育活動にも貢献している。2016年に株式会社フォルテとなり、地域に根差した経営で雇用を創出、青森県初の東証マザーズの上場という高い目標を掲げている。



自転車用骨伝導ヘッドセット(右)、産業用骨伝導ヘッドセット(左)